



追加情報
先月の表紙
 幸田ライオンズクラブが発行した
 こうたの民話・わらべ歌が町内中小
 学校や図書館などへ寄贈されまし
 た。

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています
 〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
 E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線324)
 FAX63-5139

知って得するくらしの **知恵袋**

スパイスを 上手に使う

スパイスは香辛料のことで、植物性の調味料です。料理に独特の香りや辛みをつけて味を引き立てたり、食欲を増進させるのに使われます。

料理に使われる一般的な香辛料で、代表的なものはコショウでしょう。コショウ科の種を乾燥させて作りますが、刺激性の辛みと香りが特徴。肉料理の下ごしらえ、ラーメンを食べるときなどには欠かせない隠し味です。

ガーリックはニンニクのことで、強い匂いが口臭として残るので嫌われがちですが、主に西洋料理や中華料理などで、旨みのもととして使われています。

ナツメグは、ほろ苦さと独特の甘い香りが特徴の香辛料です。主に肉、魚の煮込み料理、カレー、クッキーやドーナツなどを作ると

きに使用します。

シナモンは、日本ではニッキという名称で親しまれています。クスノキ科のニッケイの樹皮を乾燥させたものです。その甘みと香りは、料理のほかにお菓子作りにも利用されています。

唐辛子は、コロンブスがアメリカ大陸から持ち帰り、世界に広まったと言われているスパイスです。葉や種に辛みがあり、香辛料の中で最も辛いと言われています。食欲増進、消化促進にいいことからいろいろな国の料理に使われています。ピーマンは辛みの弱い唐辛子です。

日本料理でスパイスに当たるものには、山椒、生姜、山葵、辛子、柚子、三つ葉、ミョウガ、シソなどがあり、薬味といって親しまれてきました。



【選挙啓発ポスター】
 岡野 由佳さん

みんなの作品展!



【習字「共に学ぶ」】
 早瀬 容子さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

国語の時間

「せばい」

ゴールデンウィークを思いっきり楽しんだ帰り道。案の定、渋滞に巻き込まれてしまいました……

「ま、しょーがねーわ。昔からゆーたら、『せばい日本。そげん急いでどいくだー』ちって」「それってお父さん、『せまい日本。そんなに急いでどいへ行く』じゃなかった?」

「なんだー、ほーゆー言いよーもあつただか……」

「せばい」は例文のとおり狭いことばです。この地方では、「寒い」を「さばい」というように、マ行(m)の音がバ行(b)に変わることがよくあります。ですから、この「せばい」も「せまい」がなまったのだと思われがちですが、実はその逆です。もともと「せばい」といっていたのが、江戸時代になって「せまい」というようになり、現在、共通語として使われているのです。つまり、方言として一地方で使われている言葉が、由緒正しい「日本語」だったのです。

(文・じんぎょ)



青春トークリレー

第158走者

こしやま ひろみ
越山 裕美さん

大草区在住 22歳 歯科助手
身長 163cm O型
好きなタイプ 思いやりがある人、一緒に笑い合える人
好きな芸能人 ドリカム

はじめまして。私は今、歯科助手として働いています。まだまだ分からないこともあり、周りのかたに迷惑ばかりかけてしまっていますが、人と接することが好きなので、一日も早く仕事を覚え、患者さんの不安を取り除けるようになっていきたいです。

たくさんの人と接することも好きですが、一人で出かけることも好きで、休みの日は音楽を聞いてドライブしたり、映画を観に行ったりしてストレスを発散しています。

今やってみたいことは、一人で旅行に行ってみたいです。そこでまた、たくさんの人に会って、たくさん影響を受けて成長できたらいいと思います。いつかは一人で海外にも行ってみたいです。

傍目から見えていた広報紙。今月号から広報の編集に携わることになりました。情報の収集や編集の難しさ、痛感しています。幸田の記者が大変！鳥のように大空から幸田を見渡せるような、そんな目があったらいいな！なんて！皆さんにとって見やすくわかりやすい広報紙になればと思っています。情報やご意見をお待ちしています。

(T)



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。希望者は企画情報課まで。



わんぱくぐだより

「某日某日」
〜深溝保育園〜

宝物を見つけよう

の巻

深溝保育園は、自然が豊かな幸田町の中でもさらに野山に囲まれた素敵な場所にあります。春はたんぼぼに土筆。夏はザリガニにカエル。秋はドングリに山栗。やがて山の木々は鮮やかに紅葉し、散っていく。四季の移り変わりを目の前の自然から感じる事ができます。

0、1、2歳児は乳母車に乗ったり、保育士と手をつないでヨチヨチと歩いたり。3、4、5歳児はお友だちと手をつないで元気よく歩きます。一人ひとりお手製の散歩バッグを肩にかけ、何かいいものはないかと目を輝かせています。子どもたちにとっては、雑草でも石ころでも素敵な宝物。



「これ、お母さんにおみやげ！」
と、とても嬉しそうです。この散歩バッグは、牛乳パックを利用して作った丈夫なものです。可憐な草花やイガで覆われた山栗、石ころ、時にはザリガニやカエルだって入れちゃいます。4月に入園・進級し、

新しくなった散歩バッグ。今度はどんな宝物をいれるのかな？ 楽しみですよ。冬の北風の音を聞いて、「先生、お空が泣いてるね」と言っていた子どもたちも、今は暖かな日差しと風に春を感じています。さあ、今日もいい天気。どこにお散歩に行こうかな。

ちよと 編集者のひとりごと

今月号から新しいメンバーで広報を作ることになりました。今回から編集に携わることとなったTさん、Mさんとともに今以上に読みやすく、手にとってもらえるような広報紙を作っていきたいと思っています。

(D)